思ひも寄らぬ話でズーッと銘々の前にコップが並んで其酒を飲む時の有樣を申せば列座の日本人中で先づコップに浮いて居るものを口の中に入れて膽を潰して吹出す者もあれば口から出さずにガリ〳〵噛む者もあると云ふやうな譯けで漸く氷が這入て居ると云ふを分つたソコで又煙草を一服と思た所で煙草盆がない灰吹がないから其とき私はストーヴの火で一寸と點けたマッチも出て居たらうけれどもマッチも何も知りはせぬからストーヴで吸付けた所がさうも灰吹がないので吸殼を棄る所がない夫れから懐中の紙を出して其紙の中に吸殼を吹出して念を入れて揉で〳〵火の氣のないやうに捩付けて袂に入れて暫くして又後の一服を遣らうとする其時に袂から煙が出て居る何ぞ圖らん能く消したと思た其吸殼の火が紙に移て烟が出て來たとは大に膽を潰した、都てみんな事ばかりで私は生れてから嫁入をしたことはないが花嫁が勝手の分らぬ家に住込んで見ず知らずの人に取巻かれてチャファ云はれて笑ふ者もあれば雜談を云ふ者もある其中で花嫁さんばかり獨り靜にして行儀を繕ひ人に笑はれぬやうにしやうとして却てマゴツイテ顔を赤くする其苦しさはみんなものであらうと凡そ推察が出來ました日本を出るまでは天下濶歩、眼中人なし怖い者なしと威張て居た福澤諭吉も始めて亞米利加に來て花嫁のやうに小さくなつて仕舞たのは自分でも可笑しかつた夫れから彼方の貴女紳士が打寄りダンシングとか云て踊りをして見せると云ふのは毎度の事で扨行て見た處が少しも分らず妙な風をして男女が座敷中を飛廻る其樣子はどうにも斯うにも唯可笑くて堪らないけれども笑ては惡いと思ふから成るたけ我慢して笑はないやうにして見て居たが是れも初めの中は随分苦勞であつた

社説

廣く人材を求む可し

藩閥とは畢竟一地方一種族の利害を根據とする團結にして政黨は主義政論を基として國中の同志者を集めたるものなり即ち一は私黨にして他は公黨とも云ふ可きものなれば藩閥が政權を專にして異類を容れざるは恰も天下の公器を私するものなれども政黨が政府を乘取りたるは正に政權を國民の共有にしたるものなり左れば内閣員以下の官吏を任免するに當り專ら政黨の内に人材を求むるは取も直さず國民の間に人材を求むるものにして藩閥政府が主として藩閥人を採用したるとは同日の談に非ず特に今の政黨員は多年政界に奔走して藩閥と戰ひ啻に財産を失ひたるのみならず時としては身體をも危うしたるものなれば一朝目的を達して自から要路に立つに當りて其利益を政友の間に分つは誠に當然のことにして毫も怪しむに足らざれども然れども一歩を進めて考ふれば今の政黨は決して國中の人材を網羅したるものに非ず西洋諸國に於ては政黨は恰も政界の全面を蔽ふの姿にして黨員以外に政客を見ざるの例なれども日本に於ては然らず是れまで政黨員は只大言壯語當局者を攻撃するのみにして實際に於ては政權授受の用意なく過般の政變も實は意外に出でゝ意外に新内閣を成したることなれば随て此新内閣が國民に對して十分の重きを得ざるも自から謂れなきに非ず顧みて世間を見れば有志者中に其志を政治に寄せて其身を政黨に寄せざる者甚だ多く都て是れ現政府の政友にあらざれば當局者が今より政界の全權を其掌中に收めんには單に現在の政黨員を滿足せしむるに汲々たらず大に門戸を開いて局外の政客を迎ふること肝要なる可し時に今日は尋常一樣の時に非ず藩閥の根據を打破して新に國民政治の基礎を立つ可き場合なれば文官登用法の如きも是非とも全廢するか若しくは大に改正して續々新人物を入るゝこそ智者の事なれ此時に當り第一の必要は人材にして國民の向背、新政府の運命は主として用ふる所の人物如何に在りと云ふも可なり若しも夫れ〳〵相應の人を得て政機の運轉滑なるに於ては政敵も敢て攻撃の口實なきに苦しむことならんと雖も萬一法外なる人物を登用して人を驚かすこともあらば同情を寄する人士でも堪へ切れずして遂に非難するに至る可し然るに政黨の内、人材に富まざるは明白なる事實にして今日までに既に採用したる新官吏の中にも如何はしき者ありて往々非難の聲を聞くほどなれば今後尚は續いて地方官を更迭し且つ文官任用令を廢して過半の高等官を任免するに於て適任者を得るに易からざるは分り切たることなれば黨の内外を問はず廣く人材を求むること肝要なる可し或は末黨の内には政府を以て恰も其私有物の如く心得、黨外の人を用ふれば兎や角苦情を唱ふる者もあらんかなれども其苦情を制するは先輩の任にして末派小輩の得手勝手を如何ともすること能はざる樣にては所謂尾大振はざるものにして到底政府を維持するを得ず要するに政黨の利害より云ふも今後ます〳〵局外の人物を引入れて其根本を固めざる可らず政府の都合より察するも廣く人材を求めて目下の急に應ぜざるを得ず區々たる細情に拘泥せず事の大體に着眼して天下の信用を博せんこと我輩の敢て勸告する所なり

○臺灣の土地調査に就て

臺灣總督府にては曩に土地調査規則を設定し尋で臨時臺灣土地調査局なるものを置く事となり從來已に舊慣を以て右の[illegible]をも發布するに至りし所同地が清國政府の下に在りたる時巡撫劉銘傳が丈量を施行したりしも種々の障碍ありたるが爲め是非なく不完全なる丈量に止めて僅に魚鱗冊と稱する土地臺帳を調製し丈單即ち地券やうの者を各業主に與へたる趣なりしに我が帝國の版圖に歸したる際其不完全なる臺帳すら紛失したれば獨り施政上の不便のみならず各業主も何となく不安の想あるを以て斯くは土地調査を斷行し完全なる臺帳を調製する事に決したるものにて調査の方法も最新の米國式經緯儀を用ひて大體の地形輪廓を測量し一筆毎の一部分には佛國式平測盤を、市街地には三稜羅針を用ふる事とし斯くして實形の千二百分圖を製して官民有及び田畑地を色別し別に一筆づゝの輪廓圖を切圖として反別を記入し之を土地臺帳に添付する計畫なるよし左れば全島の調査を結了するには少くも三個年間の日子を要し随て其經費の如きも三百萬圓乃至四百萬圓の多額に上る見込なれども人民には其幾分をも負擔せしめず總て國庫より支出する筈の由なるが已に同調査局の職員も任命され測量機械等の準備も粗ぼ整ひたれば近日中に先づ臺北縣の調査に着手すべしと云ふ

○茅ケ崎停車場の混雜と
馬入川渡舟不取締

大磯より茅ケ崎を經て歸京したる人の談に一昨日の如きは同停車場に數百の乘客雲集して混雜一方ならざる處へ切符切りの驛夫僅に一人に過ぎず殆んど始末の着かぬ有樣なりしは作業局の注意周到ならざる證據にして旅客が不平だら〳〵なるも尤千萬の事なるが之にも増して不都合なるは馬入の渡し舟にて警察官の不取締なる爲め船頭共の増長甚しく船を中流に止めて不當の賃錢を强請し恐喝取財に類する所業あり老幼婦女の迷惑筆紙に盡し難きよしにて現に先日も十人程の一隊が此手に遇ひて一度の渡河に三圓を取られし事ありと云ふ誠に不都合の至りにして當局者は宜しく十二分の注意を加ふべきものなり

○常宮周宮の御歸京　先頃より日光に御避暑中なる昌子内親王房子内親王兩殿下は明十五日午前七時三十分同地發の汽車にて御歸京あらせらるゝ筈なりと云ふ

○神通丸船主の起訴　神通丸の保險金仕拂の件に付き同船々主原田重次郎氏と保險者たる日本海陸保險外二會社との間に關着中なることは此程の紙上に記載せしが船主より保險會社に對し數回談判するも埒明かざるを以て原田氏は終に去る八日辯護士武田貞之助氏を代理として大阪地方裁判所へ保險金壹萬五千圓仕拂請求の訴訟を提起せりと云ふ保險會社の主張は過日の紙上に記載したるを以て爰には船主の主張を記さんに保險會社の主張する所は同船が去る四月[illegible]試驗を爲すべきことは保險契約中の一要項なるに此試驗を[illegible]り居るを以て仕拂の請求に應ずるを得ずと言ふに在れども右の試驗なるものは單に船體の臨時掃除を命ずるまでなれば假令ひ右試驗に應じ居たりとするも坐礁の災は免かれ得ず畢竟右試驗と坐礁とは毫末の關係なし且つ保險會社には同船に修繕を加ふるには二萬圓あらば充分にて修繕の上は完全の船となすを得と主張すれども之が修繕には六萬圓餘を要するの見込なるを以て之を放棄せしなり云々と因に記す同船は原價七萬五千圓にて元來名越愛助氏の持船に係り昨年十月一年間の保險契約を結び去る三月三十日に現持主原田氏の手に歸せしものにて四月二日に至り保險繼續の旨を申込み六月廿八日に至り坐礁の不幸を見しなりと

○憲政黨愛媛支部の建議　憲政黨愛媛支部にては過日役員會を開き政界の近況看過すべからざるものありとて左記數項の決議を爲し去る九日附を以て右に關する建議書を内閣幷に憲政黨本部へ發送したりと云ふ

一行政の改革を根本的に斷行する事
一藩閥的異分子を淘汰し大に人材を登用する事
一地方の事情に通曉したるものを其地方高等官に任用する事
一黨内の一致を圖り其團結を鞏固にする事

○電話交換手募集　東京電話交換局にては目下男女交換手募集中の由なるが女子交換手の給料は採用の時には一日十五錢以下なりしを十八錢まで改め且つ増給の期限を短縮し賞與手當等も待遇を好くしたりといふ

○米國司令官の感謝　米人マニラを占領して初めて米國旗を同市に掲揚したる時港内にありて之に祝砲を放ちたるものは唯一の英國軍艦イムモータリチー號ありしのみ左れば米國艦隊司令官ヂューウォー將軍は深く之を徳とし翌日萬國信號を以て艦長チッチェスター大佐に向け貴艦水兵の食料までに生肉進呈致したければ毎日米國運送船迄端艇を差向けられたしとの意を申送りたりマニラには生肉を得ること難ければ米國は特に汽船に氷室の裝置を爲し濠洲より之を取り寄せたるなり英國軍艦は即ち其厚意の贈物を受納し居れりと云ふ

○土耳其の軍備　土耳其は近頃軍備の擴張に急なる由にて同國の野戰[illegible]は是迄とても獨墺兩國に[illegible]野戰砲兵の擴張及び火藥の[illegible]に[illegible]り野戰砲兵につきては多數の[illegible]クルップと契約中なる趣にて土耳其の陸軍は遠からず千八百九十年式のモーゼル銃を附與さるゝ筈なり火藥は此[illegible]のものを製造し初めたれども[illegible]に多量の火藥と百萬發の[illegible]たりと云へり[illegible]めたるも[illegible]